

2024



新春号

vol.570

令和5年度
新規就農者激励会

村上 清 西 翔大
須藤 政貴



~これからの今金町農業を担う新規就農者の皆さまです~

※詳細はP 3でご紹介!

!TOPICS!
トピックス!

p2 令和5年度JA共済全道小中学生交通安全ポスターコンクール
ご入賞者への表彰状と記念品を贈呈

p4 令和5年JA今金町食育教室
今金の食を知ろう！作ろう！食べよう！開催

裏表紙 JA 今金町青年部『今年の看板』



JA今金町公式YouTube チャンネル登録・高評価お願い致します！



輝かしい新年を迎えて

今金町農業協同組合 代表理事組合長

小田島 親守

謹んで新春の
お慶びを申し
上げます

令和六年元旦

代表理事組合長

小田島 親守

専務理事

仁木 明

常務理事

大場 倫夫

理 事

境田 哲哉

理 事

内ヶ島 祐一

理 事

水口 仁

理 事

成田 正春

理 事

本塚 晴看

理 事

中山 一浩

理 事

上野 義則

理 事

谷崎 敏之

監 事

佐藤 実

監 事

荒川 英也

監 事

安齋 保

監 事

工藤 裕之

監 事

佐藤 貴弘

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。

また日頃よりJA事業運営に格別のご理解ご協力をいただきておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと令和2年1月に日本国内で初めて発生が確認された新型コロナウイルスは令和5年5月に5類感染症へと移行され、新型コロナへの社会の向き合い方が変化していく年となりました。この間、マスク着用の定着化やイベント・外食需要の減少、リモート会議の普及など様々な変化をもたらしましたが、コロナ禍を経て、人と人のふれあいの大切さを改めて感じるところです。

世界情勢に目を向けると、一昨年のロシアのウクライナ侵攻、さらには昨年のイスラエル・パレスチナ紛争と各地で情勢不安が続いています。エネルギー供給や食料生産など世界中が混乱し、日本国内においても生産資材・飼料をはじめ、あらゆるもののがコスト高となり、一般生活はもちろんのこと農業分野への影響も計り知れない状況が続いています。国が主導し、農業分野においてはコスト低減と共に農畜産物の

適正価格を形成する事が急務であり、国全体では適切な経済政策のもと足腰の強い経済状況にしていかなければいけません。

当町においては、昨年は記録的な猛暑となり各作物の生育が心配されるなか、全体的に豊作基調となりましたが、酪農畜産を取り巻く状況は個体価格の低迷など、コスト高と相まって非常に厳しいものとなっています。厳しい状況ではあります、昨今の国内外のこうした状況は食料安全保障という「食料を国内で生産することの大切さ」を改めて国民全体で考える機会となっているのではないか。JAグループでは、「國民が必要とする」という言葉をメッセージとして発信しています。國民の意識変化に向けてJAグループ一丸となって情報発信に努めていかなければなりません。

政府はこうした大きな情勢変化に対応し食料安全保障を強化するため、令和5年6月に「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」を策定し、農政の憲法と

改正と関係施策の具体化に向けた検討を進めています。農政の大きな転換期にあたりJAグループでは、食料安全保障の強化、再生産に配慮した適正な価格形成の実現と國民理解の醸成・行動変容などを、将来を見通した基本農政を確立すべく強く政府に要請しています。

さて、令和6年度はJA今金町第13中期経営計画の中間年となります。組合員数が減少するなかJA事業運営は課題が山積しており、組合員の皆様の事業への参画は欠かすことできません。今後実施する冬期懇談会へも積極的な参加と提言をお願い申し上げます。

結びになりますが、本年は辰年です。辰は「振るう」という文字に由来しておりますが、自然万物が振動し草木が成長して活力が旺盛になる状態を表しているそうです。こうした言葉にあやかり、困難を乗り越え飛躍する年となり豊穰の出来秋を迎えられますことと、組合員皆様とご家族一同様の御多幸、御健勝を祈念申し上げ新年の御挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。

また日頃よりJA事業運営に格別のご理解ご協力をいただきておりますことに厚く御礼申し上げます。

当町においては、昨年は記録的な猛暑となり各作物の生育が心配されるなか、全体的に豊作基調となりましたが、酪農畜産を取り巻く状況は個体価格の低迷など、コスト高と相まって非常に厳しいものとなっています。厳しい状況ではあります、昨今の国内外のこうした状況は食料安全保障という「食料を国内で生産することの大切さ」を改めて国民全体で

考える機会となっているのではないか。JAグループでは、「國民が必要とする」という言葉をメッセージとして発信しています。國民の意識変化に向けてJAグループ一丸となって情報発信に努めていかなければなりません。

政府はこうした大きな情勢変化に対応し食料安全保障を強化するため、令和5年6月に「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」を策定し、農政の憲法と

第50回 令和5年度JA共済全道小中学生交通安全ポスタークール

今金小学校より2名・種川小学校より3名

ご入賞おめでとうございます



中央左側より村上友菜さん、若林希乃葉さん



中央左側より坂上志穂理さん、丸山みるめさん

※阿知波諒人さんは都合により欠席



金賞
村上友菜さんの作品



銅賞
丸山みるめさんの作品



佳作
若林希乃葉さんの作品



佳作
坂上志穂理さんの作品



佳作
阿知波諒人さんの作品

♦ その他	議決事項	議案第1号	議案第2号	議案第3号	議案第4号	議案第5号	議案第6号
	貸付金の特別承認について	信用限度を超える貸付金の承認について	令和6年度営農計画書審査方針、基準について	令和6年度営農指導基本方針について	マネー・ローンダーリング等および反社会的勢力等への対応に関する基本方針の改正について	マネー・ローンダーリング等への対応に関する規の改正について	

◆ 第12回理事会（令和5年11月28日）

♦ 報告事項

- 第一委員会報告について
- 第二委員会報告について
- 組合員の加入・脱退状況について
- 第三四半期部門別実績対比について
- 理事者への貸付実行報告について
- 内部監査報告について
- Aコープ年末の営業時間について

理事会報告

J A共済連北海道では全道小・中学生の美術教育の向上をはかり、交通安全思想を幅広く社会に訴える事を目的として毎年コンクールを開催しています。5年度のコンクールでは全道123校から1999点の応募があり63点が入賞。そのうち今金小学校の児童2名の作品（内金賞、佳作各1作品）、種川小学校の児童3名の作品（内銅賞1作品、佳作2作品）が入賞され、令和5年12月1日に種川小学校で、12月6日には今金小学校で当JAの大場常務理事より表彰状と記念品を贈呈させて頂きました。

入賞作品は令和6年2月下旬頃に、札幌市の地下歩行空間で展示予定となっています。

令和5年12月9日 令和5年度新規就農者激励会

激励会開催にあたり謝辞と今後の抱負を述べる新規就農者の皆様



J A グループ 北海道からの激励状が
伝達された後は、新規就農者の皆様か
ら就農にあたっての抱負が述べられ、
会場は温かい拍手に包まれました。
地域農業を支える若い担い手の皆様
の、今後益々のご活躍をご祈念申し上
げます。

本年度は3名の方を新規就農の対象
者として、J A 役職員出席のもと開催。
主催者を代表し、小田島組合長より
対象者の皆様へ期待を込めた熱い激励
のメッセージが贈られ、仁木専務から
は皆様の略歴などが披露されました。

令和5年度新規就農者激励会が12月
9日、J A 今金町本事務所大会議室にお
いて執り行われました。

村上 清さん （下メップ高台地区）
西 翔大さん （上白石地区）
須藤 政貴さん （田代地区）

令和5年度新規就農者激励会対象者の皆様



令和5年JA今金町食育教室

今金の食を 知ろう! 作ろう! 食べよう!

J A共済の
地域貢献活動

農業のために 地域のために 明日のために

J A共済の「地域
貢献活動」事業
のサポートで実施
しています。

令和5年11月28日

今金小学校・種川小学校の6年生を対象に食育教室を実施しました

【食育教室実施の目的】

今金町農業協同組合(愛称:JA今金町)は農家が設立した、相互扶助を目的とした自主的な組織です。

今金町は農業を基幹産業として、児童たちは授業や日常で食と農に触れる機会がありますがその度合いは様々です。

また、農家の集まりであるJAは「農家やJAがどのような働きをし、地元食材がどのように生産されているか」という事を伝えきれていませんでした。そこで、小学校での授業を通して全ての児童に共通体験をしてもらう事で「食と農、ふるさとについて理解を深めるキッカケづくり」を行いたいと考え令和3年からこの食育教室をスタートさせ3回目を迎えるました。

将来を担う子供たちに食と農を伝えるのは、JAとしての責務だと私たちは考えています。

【ポイント】

今金小・種川小6年生を対象に座学と料理教室(スープカレー)を実施。

- ①JA、栄養教諭が地場農産物などについて座学を行う。
- ②料理教室を実施する。材料には可能な限り地元食材を使用。
- 座学の内容と併せて総合的に食と農などについて学ぶ。
- ③料理教室は、プロの調理・指導によって「本物」を体感する。
- ④教育委員会・小学校と連携。地域に根ざした食育活動とする。

【座 学】



得られる効果

- ・スープカレーを作るという特別感
- ・農業者と旬の地元食材
- ・プロの調理により「本物」を体感
- ・先輩から後輩への行事の伝承

その時しか味わえない特別な体験

特別な体験を通して、農業・郷土への理解を深めるきっかけとし、長期的な目線での地域に根ざした食育へ(食と農の応援団作り)

【料理教室】

講師に「札幌らっきょ」のオーナーシェフ井手剛さんを招き、本格的なレシピをもとにスープカレーを調理しました。

食材は「米、今金男しゃく、ミニトマト、アスパラ、ブロッコリー、大根、人参、若松ポークマン」を使用。ミニトマト、アスパラは冷凍保存して使用するなど、地場の素材をふんだんに使っています。様々な食材が調和して食す事ができるスープカレーは、多彩な農畜産物を生産する今金町にとってピッタリのメニューです。

料理教室は、まず最初に井手さんが実際の手順を見せながら作り方を説明。その後、班ごとに「玉ねぎを炒めるチーム」と「野菜を切るチーム」に分かれ調理を開始しました。

プロの本格レシピに悪戦苦闘しながらも、みなさん素晴らしいチームワークで無事にスープカレーが完成し教室は大きな歓声と拍手に包まれました。スープカレーと食材にまつわるお話や調理は大人が体験しても楽しい内容で、6年生たちは真剣にそして楽しみながら取り組んでくれました。

野菜が大きくカットされていますが、「ちょっと辛いけどとっても美味しい!」と自分たちで作った野菜たっぷりのスープカレーを残さず美味しそうに食べている姿が印象的でした。



ゆめぴりかコンテスト2023

祝 道南地区金賞・全道大会出場

「ゆめぴりか」のブランド力向上などを目的に2015年から開催されている「ゆめぴりかコンテスト」

J A今金町が道南地区予選で、初となる地区金賞に選ばれ、11月21日に札幌市で開かれた全道大会に出場しました。



产地パンフレット 今金米PR動画



JA今金町
道南地区予選で初の金賞
「ゆめぴりか」の新米の出来を競う「ゆめぴりかコンテスト」の道南地区予選が11月10日函館市の道南農業会館で開かれ、JA今金町が初めて地区金賞に選ばされました。この地区予選は、道南の各JAや振興局、ホクレンなどでつくる「函館育ちブランド米協議会」が主催し、本年はJA新はこだてとJA今金町の2JAが出品。各振興局や道南農業試験場など関係者をはじめ、当JAの小田島組合長も審査員を務めました。18名の審査員は、産地を伏せた状態で米を食べ比べ、「つや」「味」「粘り」などを評価して投票しました。



~ゆめぴりかコンテスト2023出場JA~			
・JA今金町(道南地区)	・JAながぬま(空知地区)	・JAようてい蘭越地区(後志地区)	・JAるもい(留萌地区)
・JAびらとり(日胆地区)	・JA当麻(上川地区)	・JA新しのつ(石狩地区)	・JAのやま(シラカバ地区)

11月21日、札幌市において全道の地区予選を勝ち抜いた7地区JAが集まり「ゆめぴりかコンテスト2023」が開かれました。審査は元北海道大学教授川村周三氏をはじめ、有識者7名により実施。審査員は試食を行い、それぞれ評価上位1位2位を選出し、とも評価が高かった産地が「最高金賞ゆめぴりか」となります。厳正なる審査の結果、JAようてい(蘭越地区)が2年連続3度目の最高金賞に輝きました。どの産地も甲乙つけがたく、非常に接戦であった事が審査講評で述べられました。コンテストに出場したJAのゆめぴりかは、「最高金賞」「金賞」のシールが貼られ数量限定で販売される予定です。

全道大会・最高金賞は
JAようつい蘭越地区

J A今金町女性部 フレッシュユミズ部会視察研修報告記 ～京都・東京方面2泊3日～



J A今金町女性部フレッシュユミズ部会は、11月20日～22日に道外視察研修を実施致しました。

本視察研修は、京都青果合同株式会社から、「野菜ソムリエを講師に招き、今金男しゃくを使った料理教室を開催しますが、今金町の若手女性農業者も参加してくれませんか?」というお誘いがあり、料理教室参加を軸に京都・東京方面へ視察研修を企画・実施いたしました。

消費者や市場担当者の想いや、加工・流通にいたるまで様々な事を学ぶことができ、実りのある視察研修となりました。

この様な機会を頂けたこと、また実施にあたりご理解とご協力をいただいた今金町畠作部会とJ A今金町女性部の皆様にお礼を申し上げて、本視察研修報告とさせていただきます。

～視察研修の行程～

●研修1日目

今金町出発→京都へ
(株) 湖池屋京都工場視察

ポイント
ポテチの
製造現場へ潜入!

●研修2日目

京都青果で料理講習
消費者と生産者で交流できました
講習終了後、京都→東京へ

ポイント
この視察の
メインイベント!

●研修3日目

青果取扱高日本一
【東京大田市場】でセリ見学
今金町へ帰る

ポイント
自分が生産した
今金男しゃくとの出会い...





研究会のメンバーは「JAこしみず」「JA摩周湖」「JA帯広大正」「JA夕張市」「JA今金町」

Instagram の効果的な運用方法を講師から学びました

J Aグループ北海道ではSNSを活用した効果的な情報発信に向けて、「SNS研究会」を令和5年に立ち上げました。中央会を事務局としてSNSを積極的に活用している当JAをはじめ道内5JAで構成されています。

11月8日には今金町に各JAの担当者が訪れ、JA今金町の特徴や取り組みを報告した他、SNSの効果的な運用方法などについて学習しました。

J A今金町は「今金男しゃく」をはじめ様々な農畜産物の产地として地域内外への発信を続け、更なるJAサポートづくりに取り組み、農業やJAに関する理解促進に努めています。

J Aグループ北海道
SNSを活用した効果的な
情報発信に向けて



開会の挨拶を行う津村女性部長

第59回農村女性文化祭は、「現在の地域農業の基礎を築いて下さった先輩の女性農業者へ、感謝の気持ちを伝える」をコンセプトに現役女性部員以外の方々もお招きして開催されました。

本年の農村女性文化祭は、【現在の地域農業の基礎を築いて下さった先輩の女性農業者へ、感謝の気持ちを伝える】をコンセプトに現役女性部員以外の方々もお招きして開催されました。

11月30日、JA今金町女性部が第59回農村女性文化祭を開催しました。

JA今金町は「今金男しゃく」DVDの上映や部員による演芸、そして、昼食では部員手作りの五目おこわや漬け物などに舌鼓をうつなど、盛況のうちに閉会となりました。JA今金町女性部では、JA今金町の昔を振り返る

第59回 農村女性文化祭開催！



▲ドローンの実演会の様子

女性農業者の更なる活躍に向けた取組として、令和5年2月には女性農業者向け懇談会を開催。7月にはドローンの実演会・操縦体験会を開催致しました。

今後さらに女性農業者が活躍できるよう、学習や交流の場、意見交換の場の充実に努め、より良いJA今金町女性部では、JA今金町の昔を振り返る

令和5年度からスタートしたJA今金町第13次中期経営計画では、JAの組織使命を果たす為の『人づくり』を掲げております。

その一環として令和5年に行われた青年・女性農業者に向けた活動についてご報告します。



▲青年層向け宮農懇談会の様子

宮農懇談会は経営主の組合員出席が大半となることから、JA今金町青年部を中心に、部員以外の青年農業者も対象に意見交換の場を設けています。また青年部ではスマート農業の学習会を開くなどスキルアップのための取り組みを行っています。今後の地域農業を支える青年農業者に対して、経営に対する意識の向上や、農協事業への理解の醸成などを目指し引き続き取り組んで参ります。



青年・女性農業者の活動についてご報告

農業者年金に加入していますか？

①少子高齢化に強い積立式・確定拠出型の年金です!!

→自分が積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決定されます。

②終身年金で80歳までの保証付き

→年金は生涯支給され、80歳未満で受給者が亡くなった場合 80歳まで受け取れるはずの農業者老齢年金相当額が死亡一時金として受け取れます。

③税制上の優遇措置

→支払った保険料全額が社会保険料控除の対象になり、所得税や住民税等の節税に繋がります。

④保険料の額は自由に決められます

→保険料は月2万円～6万7千円の範囲内で自由に選ぶことができます。
(金額の設定は千円単位です)

⑤保険料の国庫補助があります。

→認定農業者等の要件を備えた意欲ある担い手に保険料の国庫補助があります。
(国庫補助には一定の要件があります。詳しくは下記お問合せ先へご相談下さい。)

加入要件は3つ

①年間60日以上農業に従事している。

②国民年金の第一号被保険者である
(保険料納付免除者は除きます)

③年齢は20歳以上60歳未満である

※国民年金基金との重複加入不可等の諸条件もありますので加入を検討の方は下記お問合せ先へご相談下さい



老後の備えや節税対策になる農業者年金にまだ加入していない方は是非加入を検討してください！

農業者年金についてのお問合せは

JA今金町貯金融資課（TEL：82-0211） 迄お願いいたします！

今月の二宮先生

「積小為大」

翁のことばに、大きな事をしたいと思えば、小さな事を怠らず勤めるがよい。小が積もって大となるからだ。およそ小人の常として、大きな事を望んで小さな事を怠り、できにくいことに気をもんで、できやすいことを勤めない。それゆえ、ついに大きな事をしとげられない。それは、大は小を積んで大となることを知らないからだ。

たとえば、百万石の米といつても粒が大きいわけではない。一万町歩の田を耕すのも、一くわづつの手わざができる。千里の道も一歩ずつ歩いて行きつくのだし、山を作るにも一もつこの土を重ねてゆくのだ。この道理をはつきりわきまして、精を出して小さな事を勤めてゆけば、大きな事は必ずできる。小さな事をいい加減にする者は、大きな事は決してできぬものだ。

（二宮先生語録より）

役職員向けコンプライアンス研修を実施
～不祥事防止、風通しの良い職場づくり～

11月28日役員向け研修



中央会札幌支所長谷川次長

11月22日職員向け研修



中央会札幌支所太田監査士

J A今金町では毎年役職員を対象にコンプライアンス研修を実施しており、今年度は役職員に向けて2度実施しております。

・11月22日職員向け（講師 中央会札幌支所太田監査士）

・11月28日役員向け（講師 中央会札幌支所長谷川次長）

職員向け研修では道内JAの不祥事発生状況や、個人情報取り扱いについての説明がなされた他、荒川金融部長からマネロン等対策の概要が説明されました。

役員向け研修では、不祥事防止対策として風通しの良い職場づくりについて実際の改善事例をもとに説明がなされました。研修内容の実践を通じて、今後も活力ある風通しの良い職場づくりに取り組んで参ります。

J A今金町青年部『今年の看板』 テーマ『まごつろを君に…』



令和3年・4年に続き今年も看板作製を行ったJA今金町青年部。今回の看板にもJA今金町青年部公式YouTube等で食と農をPRし人気を博するJA今金町青年部公式キャラクター「ミスターK」を中心とし、酪農畜産業において生産者が愛情と手間をかけて育てていることを消費者に訴えて行きたいとの思いが込められている。

J A今金町青年部は今金町産の農畜産物のPRや、農業の楽しさを伝えていくために今後もPR活動を行っていく。